

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第142号

平成30年11月1日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

会員さんへの訪問事業、無事終了



当協議会の会員さんの施設を訪問させていただく「子ども科学探検隊(小学生)」と「中高生サイエンスキャリアプログラム」の全日程を無事に終了させることができました。会員の皆さんが子ども達のために、特別に工作・実験・観察を計画していただいたり、普通は立ち入りができない場所を案内していただいたりしました。子ども達にとって、貴重な経験となりました。

←秋の花の代表、コスモス：秋桜(事務局10月撮影)



子ども科学探検隊

今年度の「子ども科学探検隊」(小学4～6年生対象)は、5月20日(日)から10月13日(土)にかけて、18会員さんの施設を訪問させていただきました。学校の夏休みまでに15会員さんを訪問しました(協議会ニュース131号)。今回は9月以降に訪問した3会員さんの紹介です。


横浜市立金沢動物園	神奈川工科大学	伊勢原市立子ども科学館
9月22日(土)	9月29日(土)	10月13日(土)
		
キリン宿舎やエサ保管冷蔵庫など普段は見ることができない施設に案内してもらいました。園内の動物病院では、動物の手術のお話を聞くことができました。動物園の中には、いろいろな仕事があることを学びました。	固体と液体の中間の物質であるジェルをつくり、その特性を勉強してきました。また、様々な化学物質を加えることでジェルの色を変化させたり、発光させたりしました。淡い蛍光色を発する様子は保護者の方にも好評でした。	科学館内を自由見学した後、七宝焼きづくりを体験しました。各自好みの色付けやガラスピースを加えた後、熱く真っ赤になった約1000℃の窯で焼きました。焼いてもらっている間は、貸し切りでプラネタリウムを見せてもらいました。

中高生サイエンスキャリアプログラム

「中高生サイエンスキャリアプログラム」は、7月14日(土)から9月29日(土)まで全17回でした。夏休みまでに16会員さんを訪問しました(協議会ニュース133号)。

最後の訪問先では無菌実験を体験しました。



神奈川工科大学
9月29日(土)

オートクレーブから取り出した培地の基を、手から菌が落ちないように気を付けながら無菌状態のシャーレに移し、静置させて固めました。ここに無菌状態で育てたセントポーリアの葉片を置いていきました。クリーンベンチの使用、アルコール消毒など、無菌状態を維持する実験操作に、緊張しながら取り組んでいました。

Science Topic 「金星が太陽面を通過」

1 金星の日面通過とは？

太陽と月と地球が一直線上に並ぶと「日食」が観測されます。同様に、太陽と金星と地球が一直線上に並ぶと、太陽の表面を金星が通過する様子を観測できます(金星は月のように大きく見えないので、日食のような現象にはなりません)。



とっても珍しいんだよ！
by ケプラー(1571-1630)
(ケプラーの法則で有名な
大天文学者)

しかし、この現象(日面経過)はとても珍しく、ケプラーの時代以降では、[1631年、1639年]→[1761年、1769年]→[1874年、

1882年]→[2004年、2012年]という周期で、平均すると1世紀の間に2回ありますが、一度逃すと次は約100年後となります。ちなみに、次回は2117年です！

この「●」が、太陽の表面を通過する金星(2004年の日面経過)

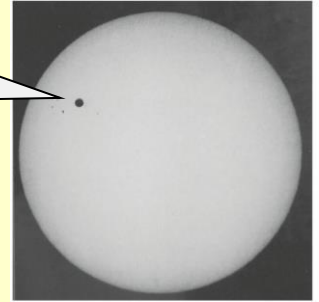


図3 金星の太陽面通過 2004年6月8日の撮影記録。[月刊天文]2004年8月号、p.15より転載。撮影 斉藤尚敏氏

2 記念碑の建立

1874(明治7)年、この珍しい天体ショーの観測には日本が適地である、として世界中の天文学者が来日しました。メキシコの観測隊が横浜の野毛山(紅葉ヶ丘)に観測場を設置し、天候にも恵まれ観測は大成功でした。

この観測成功を記念して、観測から100年後の1974(昭和49)年に、県立青少年センター前に記念碑が建立されました。

この記念碑は、昭和52年に神奈川県に寄付され、県の文化財にもなっています。

EL TRANSITO DE VENUS

9 DICIEMBRE 1874

金星太陽面経過観測記念碑

明治7年(1874年)12月9日メキシコ観測隊(隊長フランシスコ ディアス コバルビアス)ならびに日本水路寮の海軍中尉吉田重親らは、下記地点において金星の太陽面経過の観測に成功した。ここに100年の記念日を迎え、神奈川県及び横浜市の協力を得てこの碑を建て後世に伝える。

第1観測地点(野毛山) 東経139° 37' 48"
北緯 35° 26' 45"
第2観測地点(山手) 東経139° 39' 02"
北緯 35° 26' 07"

昭和49年(1974年)12月9日

金星太陽面経過観測記念碑設立期成会

記念碑は青少年センター前の道路沿いのこの辺にあります。



碑文



3 メキシコ大使が記念碑を視察

先日、10月24日(水)にメキシコ大使(右の写真の中央)がこの記念碑の視察のため、青少年センターにお見えになりました。事務局(青少年センター科学部)の職員からこの記念碑について大使に説明をいたしました。後日、大使館から「単なる外交辞令ではなく、視察への厚遇に御礼します。」という連絡をいただきました。

現在、この記念碑は日本天文遺産として日本天文学会に申請中です。お近くにお寄りの際はご覧ください。



事務局から

当協議会の事務局(県立青少年センター科学部)は、青少年センターが横浜に開館して以来、56年間、子ども達への科学体験活動推進の拠点として機能してきました。当協議会が2005(平成17)年に発足してからは、会員の皆様にもたいへんお世話になりました。

この度、10月22日(月)に引越しをして、事務局が横浜から厚木に移転しました。移転先は、小田急線の本厚木駅から徒歩4分ほどの「プロミティあつぎ」という8階建ての民間ビル(写真左)の2階です。まだ一部改修工事が完了していませんが、お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。今後ともよろしく願いいたします。

(事務局：村上、高相、山田、宮城)

科学部引越しの際
青少年センター職員から
いただいた花束！



ありがとう
紅葉坂

